

岡山県木材組合連合会の取組

1. 主な製品

県産ヒノキ製材品

2. 主な輸出先国・地域

韓国・中国・台湾など

3. 輸出取組の概要

岡山県木材組合連合会は、県産製材品の輸出振興に当たって、会員企業の輸出の取組を支援する目的で、県の支援を受け、平成24年度に「岡山県産材販路推進協議会」を設置し、輸出に関するセミナーの開催や海外の展示商談会への出展を行っている。

出展に当たっては、会員企業を募り「岡山県産材販路推進協議会」名義で出展を行い、オール岡山での取組であることをPRしつつ、輸出の経験がない会員企業の商談等のサポートを行っている。

岡山県は、ヒノキの素材生産量は全国でもトップクラスの生産量を誇り、多くの会員企業がヒノキ製材品を主力製品としていることから、ヒノキ製材品の輸出に力を入れており、平成27年に「日本一のひのきの国・岡山」をキャッチフレーズにロゴマークを作成し、国内外における県産材の認知度向上に努めている。

連合会が支援する海外の展示・商談会への出展を契機に輸出を開始する企業が現れ、輸出量が伸びていることもあり、輸出に関心を持つ会員企業の入会や展示商談会への新規出展企業は増加している。

令和5年度に、韓国で商標登録された美作材ロゴマークの権利を、美作材輸出振興協議会（R4に解散）から継承し、引き続き韓国における美作ヒノキのブランド化を図っている。

4. 輸出実績

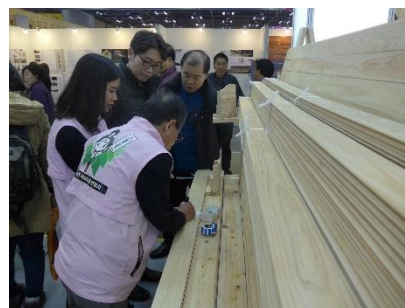
県産ヒノキ製材品など
(内装材、家具用材、その他板類、CLTなど)



韓国で商標登録されている
美作材（製材・製品）ロゴマーク

5. 課題と対応

・県内の中山間地域では、林業・木材産業が主要な産業のひとつであり、木材の需要拡大が課題となっていることから、林産物の輸出に対する関心のある市町村を特別賛助会員とし、情報発信を行うことにより、木材業界と行政の橋渡し役となっている。



展示会における商談状況

6. 今後の展開

- ・輸出に取り組む新規会員の掘り起こし
- ・新たな販路を開拓するための情報収集・普及活動
- ・海外における「美作ヒノキ」ブランドの確立

7. 活用した支援・施策

岡山県「県産ヒノキ販路開拓支援事業」



韓国の伝統住宅の建設現場視察